

# ♡親子読書『つなぐ』の感想より♡ (R4, 1学期実施)

## 【1年】

「くばられたあたたかい心」

《児童》だれかが こまっていたら たすけます。

《お家の方》誰でも自分が一番に助けてもらいたいと思うところを、体力気力があれば、まずは弱い人を助けることできる人が、真に強い人だと思います。

「がんばったわたしのかぞく」

《児童》かなしいきもちになったけど、みんながやさしかった。

《お家の方》人吉での水害を思い出した・・・、と本人からも聞き、しっかりと記憶に残っているんだなと思われました。話をするいい時間になりました。

## 【2年】

「おかあさんへ」

《児童》まもってくれたのが、やさしいと思いました。

《お家の方》熊本地震の際、私も娘を同じように守った記憶があります。自分の命より大切なものは、やはり子どもだと思いました。

「ありがとうをつなぐおりづる」

《児童》ありがとうはいいことばだと思いました。

《お家の方》「いいことばだとおもう」と感じてくれたように、相手の気持ちや思いやりを大切にできるようにしてほしいです。一緒に考えるいい機会になりました。

## 【3年】

「熊本のたから再発見」

《児童》人と人とのつながりが、ひなん所にいるときは、もっとよくなることを知りました。

《お家の方》コロナ禍においても、人と人とのつながりを再認識しましたが、災害の時は心が不安定になるので、さらに人と人とのつながりは大切だと親子で思いました。ふだんから、人と人とのつながりを大切にしたいです。

「助かった命」

《児童》ぼくが3さいぐらいのときに、熊本じしんがありました。そのときお父さんとお母さんがテレビをつけて体をまもってくれて、この話とにているんだなと思いました。

《お家の方》熊本地震を振り返り、大きな揺れを体験しいろんな事を感じたと思います。親子でつなぐを読み、今後の対応につなげていけるよう、子どもと話せていい機会になりました。

## 【4年】

「お父さんはヒーロー」

《児童》ぼくも、お母さんがいないとき、弟のめんどうをみたいです。

《お家の方》当時熊本市内に住んでいて、住んでいた地区も被害が大きかったため、自分たちのことだけでも精一杯なのに、被災されながらも人の為にと働く方たちには、本当に感謝でした。

「心のささえ」

《児童》テレビでも犬が外に出ておいていかれて、かわいそうだなと思いました。

《お家の方》ペットも大事な心の支えになり、家族だから毎日いっしょにいれることを当たり前と思わずに、優しい心で過ごせたらいいですね。

## 【5年】

### 「ボランティアって楽しいよ」

《児童》 ぼくは、災害でいろいろな人が困っているときに、自分からボランティアに行って、くずれた家のがれきの片付けなどを進んでしていてすごいと思いました。そして、これからは、災害が起こらず平和で楽しくなることを祈りたいです。

《お家の方》 災害時のボランティアをされている方のニュースを家で観ているばかりでした。熊本地震・水害を経験し、沢山の人たちから支援をいただきました。災害が起こらないことを祈るばかりです。実際現地にボランティアに行けずともできる支援を続けていきたいと思っています。また、今からたくましくなる息子たちも、できる限りのボランティアに興味を持ち行動できるような青年になってもらえたらなと思います。

### 「ヤカンを持った人」

《児童》 いろんな子どもたちが、人のために少しでもがんばろうと思う気持ちが、とつてもすてきでした。

《お家の方》 みんなの気持ちはただ一つ・・・、敏感な子ども達が一生懸命になる姿は、とても輝いて見えて素晴らしく、生きる力につながると感じました。

## 【6年】

### 「避難所での生活」

《児童》 私も、くじけそうになっても、とにかく前を向いてがんばろうと思いました。

《お家の方》 当たり前だったことが、当たり前でなくなったとき、どれだけ普段幸せな環境で過ごせているか分かりますね。日々の生活に感謝です。

### 「助けられた命」

《児童》 いつ強い揺れがくるか分からないのに「中に入れてください。」と言った人、それをOKした人、どちらもすごいと思いました。怖くても思い切って自分の考えを言えるのはすごいと思いました。

《お家の方》 何度読んでも、緊迫した状況の中、難しい決断をしながら必死で救助活動をしてくださった方々に頭が下がる思いです。このようなことが熊本地震であったということを知り、改めて忘れてはいけなと感じました。

## 【たんぽぽ・ひまわり学級】

### 「牛の命をつなぐ父さん」

《児童》 私も牛や動物の命をしっかりと守りたいです。

《お家の方》 命をもらって生きているのは、本当に感謝しないといけないことですね。災害時だけでなく、日常です。

### 「心のささえ」

《児童》 じいちゃんばあちゃん家で飼っている猫も水害を経験し、危険な目にあいました。無事な姿を見て本当に嬉しかったです。僕にとつても家族のような存在なので長生きしてほしいです。

《お家の方》 天災はいつどこで起きるか分からないし、誰のせいでもないのですが、被害者は人間だけでなく動物、植物等も被害者であることを忘れず、天災やアクシデントに備えつつ、自然を大切にすることをもち続けて生活していきたいと思っています。動物、植物も家族であり、かけがえのない存在です。